

旅館業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	ホテル内で、宅急便で届いたお客様の荷物（スーツケース）を部屋へ運ぶ業務をしていた。大きなスーツケース×3個を台車に乗せようとして、1個目を台車に乗せた後、2個目を乗せている途中で、腰がグキッとになって痛みが走った。	77	50~99
1	10~11	客室にて、清掃に伴う布団上げの作業中、畳上でカバーを取り換えた約3kgの掛布団をたたみ押し入れにしまおうと、しゃがんだ姿勢で掛布団を抱え、持ち上げようとした瞬間に腰を痛めた。	66	10~29
2	14~15	被災者は、レストランホールの洗い場にて、食器入りの食品カゴ（重量：約7.5kg）を食器棚に戻そうと食器棚へ運んでいる途中、カゴを落としそうになった為、足を踏ん張ったところ、右膝をひねってしまい右膝関節靭帯を損傷した。	24	100~299
2	13~14	清掃作業中、ソファ（50kg）をベッドに変換させるため移動させようと力を入れた際、突然腰中央部分に激痛が走った。	52	1~9
2	14~15	清掃及び在庫管理の為、倉庫（プレハブ）内で（足元が狭かった為）中腰で中身の入ったビールケース（中瓶2ケース同時）持った際、腰から足にかけて痛みがあり、その後手足にしびれが残った。	37	1~9
3	13~14	女子ロッカー（脱衣所）で床のほこりを粘着式クリーナーで取っている際、姿勢を崩し左足に大きな負荷がかかり、骨がピキッと鳴った。	35	100~299
3	8~9	ホテルの厨房にて、炊き上がった3升のご飯を釜ごと調理台に置こうとした際に、誤って足を捻ってしまった。	69	30~49

4	10～ 11	皿をボックスに数十枚入れて持ち上げようとした時、重すぎて腰に負担をかけ過ぎてしまった。	63	30 ～ 49
4	18～ 19	仔牛の出汁を漉す作業の際、出汁はステンレスの寸胴（直径48cm、高さ45cm、重さ31.4kg内容物含む）に入っており、調理場のレンジ（地面から47cm）から下におろし、ステンレス寸胴（高さ28cm、直径48cm）に濾していた。作業は内容物が熱いこともあり時間がかかっていた。	21	300 ～ 499
5	14～ 15	本館南側階段にて2階から1階に障子を運んでいる時、足を踏み外して膝をねじった。	66	50 ～ 99
5	10～ 11	旅館内客室で簡易ベッドを移動中、客室入口に高さ13cmの段が一段あるので、一人でベッドを持ち上げた時に腰に痛みが走り、うずくまった。	69	1～ 9
5	15～ 16	6階の客室清掃業務終了後、清掃道具の入った重いワゴンカートを両手で押して運んでいた際、段差を通るためカートを少し上に持ち上げた時、腰に強い痛みを感じた。	42	100 ～ 299
6	16～ 17	ホテル客室にてベットメイク中に、中腰の状態で掛け布団を整えようとしたところ、力を入れた際に腰を痛めた。	23	30 ～ 49
7	13～14	当社において客室清掃作業中であった。ベッドメイキングを行っていた際、セミダブルのベッドを跨ごうとして（客室が狭いためベッド周りの移動が難しい場合はベッドを跨ぐ）右足ふくらはぎに痛みがはしり負傷した。	55	30 ～ 49
7	5～6	宴会調理メインキッチンにて、ホテル内各レストランに用意する味噌汁、コーンスープ、冷やしそばなどを準備していた際、ステンレスの寸胴鍋に20?ほどスープ類が入った20kg前後になるもの、ステンレスの寸胴鍋に10?ほどスープ類が入った15kg前後になるもの、40袋分（1袋230g入り乾麺）のそばを大鍋で茹でる際のざるなどを床から約1mの作業台や床から約1.2mの高さの台車に複数回持ち上げたり運んだりすることで背中を痛めた。当日は傷みが続いていたが終業時間まで就労した。翌日は朝は就労したが痛みがあった。	56	300 ～ 499

7	20~21	303号室露天風呂内にて、故障中のサンシェードの確認のため、手動で閉める作業をする際、高さ35cmの台に乗ったが、作業を終え、台を降りる際に、誤ってバランスを崩し、足首を強く捻ってしまった。	55	~ 29
7	19~20	私は常に厨房の中で仕事をしている。いつものようにお米を洗い終わり下に（たき口）おろそうとした時背中に向けてこれ迄に味わったことのない痛みが走り、その後夜になり痛みがくすりをのんで湿布を貼っても痛みがおさまらず、検査を受け圧迫骨折という診断を受け療養中である。	65	1~ 9
7	15~ 16	昼営業を終え、テーブル（幅90cm、奥行90cm、高さ72cm）を定位置へ片付けようと両手で持ち上げ運搬していたとき、腰がギクツとなり痛めた。	62	~ 499
7	11~ 12	ホテルの客室を清掃時、ベッド（スプリングマットレス付き）を持ち上げて右手（右腕）で支えながら、左手（左腕）で掃除機をかけたあと、左手を掃除機からベッドに持ち替えてベッドを降ろそうとした際に、バランスを崩し、右の手首に負荷が大きくかかり、ピキッと痛みがはしり負傷した。痛み止めを飲みながら、痛みを堪えて仕事をしてきたが、手首が痛むため、シフトのペースを減らすなどの対応をしてもらっていた。	28	30 ~ 49
9	13~ 14	当社において、客席清掃作業中だった。ユニットバスの洗浄清掃終了後のバス内拭き上げ作業中に右手にタオル（布ウェス）を持ち指先に力を入れて床面を拭いていた際に、右手中指がポキッと音がして第一関節から先端が曲がったままになってしまい負傷した。	59	50 ~ 99
9	6~7	H社敷地内のプールサイドにおいて、2つのプールの水の入れ替え作業を行おうとした際、倉庫から重さ12kgの水中ポンプをプールサイドまで運びプールへ沈めるため屈んだところ、腰を負傷したものである。	50	~ 299
9	10~ 11	屋外バーベキュー場流し台で洗い物が終わり、次の準備のために移動した際、流し台の下にあった段差7cmの踏板から足を踏み外した時に、左足の甲をひねり受傷した。	70	30 ~ 49
		6階ベルデスク横で、二段になって台車に積まれた大きめスーツケース7~8個から		

9	13~ 14	1つを上段から下ろし、サイズを測ろうとしゃがんだ際に腰に激痛が走りその場に倒れそうになったが、なんとか壁などを伝いバックスペースまで動いたところでその場で動けなくなってしまった、すぐに救急車を呼び搬送された、恐らく当日の朝にトラックに運ばれてきた団体客のスーツケース100個前後のうち40~50個前後をトラックから下ろし台車にのせ、運びまた台車から下ろし…などの作業をしたことも影響していると思われる。	40	~ 499	300
9	13~ 14	客室ユニットバス清掃中に浴槽の手前（外）から手を伸ばして対面の壁を拭いている際に足が滑って転倒、その際に手を伸ばしたまま浴槽の淵で右わき腹から脇にかけて強打。水洗いをするため、くつ底はゴム製のくつをはいて、清掃するようにしているが、体を動かす仕事なので今回の件は防げなかった。	49	~ 49	30
10	15~ 16	ドラフトのオーダーが入り、ビールタンクにレバーを設置しようとしたところ、右手親指に負荷がかかり、右手親指の靭帯を損傷。	33	~ 29	10
10	12~ 13	当社において客室清掃作業中であった。ベッドメイキング中で枕をセッティングする為手を伸ばして奥へ置こうとして右足に体重を掛けて踏ん張った際右足に痛みが走り負傷した。	40	~ 99	50
10	21~ 22	客室で清掃中、お客様の利用するスリッパを揃えようと階段を下りている時に足を踏み外すし、右足を不自然な形でついて負傷した。	65	~ 29	10
10	14~ 15	施設内併設のボーリング場にて、毎週金曜日にスタッフとお客様が対戦するイベントを開催しているが、当日参加可能なスタッフがおらず、代わりに参加したが（業務として業務時間中）、投球時、足を地面についた直後、ブチッと音がして肉離れをおこし負傷した。	47	~ 299	100
10	20~ 21	店内にて、ダイニングで片付けと翌日の営業準備中、小走りで作業していたところ、靴が合っておらず脱げた時に右足を捻り受傷した。怪我をした当日は骨折していると思わず、翌日痛みと腫れが出た。	46	~ 29	10
10	15~	缶ビール1C/Sを取ろうとした際に腰を痛めた。ビールは棚の奥にあり、手前には他飲料などが置いてあったため、無理な体勢だったが急いでいたため、そのまま重	50	~	100

	16	い物を持ったことにより、痛めてしまった。		299
11	10~11	当社において客室清掃作業中であった。廊下に置いているかごから客室内の備品を取ろうとして前屈みになった際、腰部に強い痛みがはしり動けず負傷した。通常、リネン類（タオルやシーツ）や客室内の備品類は廊下に置いておき交換作業をしている。	40	30 ~ 49
11	12~13	客室にて清掃時、畳と床の段差に躓いて右足薬指を骨折したと思われる。業務終了後病院を受診、レントゲンを撮るが、異常なしと診断された。後日痛みが治まらず、別の病院を受診、折れている為7~10日間安静にするよう診断される。翌月痛みが治まらず、また別の病院を受診、全治2~3ヶ月と診断された。	50	30 ~ 49
12	8~9	当社前のレストランにおいて廃油の処理の為、外に出ようとしてパントリー（食品保管庫）の扉を開けようとした際に、外からの強風でなかなか扉が開かなかったので廃油（およそ8~10?入り）缶を持ったまま思い切り全身に力を入れて開けたところ左脇腹を痛めてしまい負傷した。	62	30 ~ 49
12	15~16	客室のベッドメイキング中、ベッドを動かした時に腰に痛みが走った。	51	1~ 9
12	21~22	お客様のお預かりスーツケースをバゲッジルームからベルデスク前まで運び、お渡ししようとした際、お客様が玄関方面へと急に急がれた為、ついていこうと荷物を持ち上げた際、腰に電気が走り、動けなくなった。	28	500 ~ 999
12	14~15	旅館内の客室清掃中に、ベットやソファを動かす作業を繰り返していたところ、じわじわと痛みを感じ始めた。	33	100 ~ 299
12	20~21	3F広間の宴会中に、お客様に出すビールをケースごと持ちあげたとき、左腕のあたりにずきんとした痛みを感じた。	57	30 ~ 49
12	8~9	勤務先のホテル料飲部での出庫作業時に、瓶の入ったケースや廃棄物等の重量物を運搬したことにより、腰および背中全体に損傷が発生した。	23	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html